

## 「部門別内容」 及び 「昨年度受講者の評価」

部門	背景と狙い	内容
【生産】	<p>「仕事のやりがい＝満足度」を高める作業は生産性を上げる。生産性が上がれば必然的に品質も向上し、顧客満足も上がる。この一連の流れを支えるのは最初に述べた「仕事のやりがい」です。</p> <p>今回の講習では、改善事例発表、意見交換等、日頃出来ない企業間交流により自分の業務のポジションを感じられる講義を計画しています。自分の業務の他社比較により、高いと感じれば更に仕事に磨きを掛け、低いと感じればどこが不足しているのか分析し、意見交換から得られた良事例を取り入れ、明日からの作業を改善し現状打破の気付きを持ち帰って頂きたいと思いません。</p>	<p>1) ばらつきの評価方法の講義 ヒストグラム、CP値の算出演習</p> <p>2) 各社の変化点管理事例紹介 事例紹介を受けて、個人演習とグループ討議</p> <p>3) 各自のヒューマンエラー対策発表と業務課題についてのグループディスカッション</p> <p>4) 工場見学</p>
【邸別設計】	<p>働き方改革で、残業時間の削減、有給休暇の取得等が求められている昨今、限られた時間の中で、顧客満足と設計の品質を落とさずに、高効率な打合せや設計提案をすることが求められています。効率化のためには、ムリ、ムラの無い業務量の平準化、手戻りやムダのない打合せの進め方、事前の準備作業、改善による業務効率化、スキルの向上等が必要であると思わます。</p> <p>今回の事例研究では、顧客満足を生み出す中心的なプロセスである、顧客との契約後の打合せに焦点をあて、【手戻りのない効率的な打合せや提案で、かつ、高い設計品質と顧客満足度を獲得した成功事例と、その反対の失敗事例】を共有することで、今後の実務の効率化に役立ててもらおうことを狙いとします。</p>	<p>1) 手戻りのない効率的な打合せで、高い満足度を頂いた事例、その反対の失敗事例を持ち寄って、情報共有を図る。</p> <p>2) 1)で情報共有した内容をもとに、グループで協議・分析を行い、高い満足と効率を両立化するために、設計者として必要な行動、必要なスキルについて、討議する。</p> <p>3) 【モノを選択する顧客心理】についての個人ワークを体験し、2)の内容をグループでブラッシュアップする。</p> <p>4) グループで再認識された内容を、講習会の成果として宣言する。</p>
【施工】	<p>「働き方改革」が叫ばれる昨今、プレミアムフライデーなど政府の政策でも労働時間短縮を後押ししています。</p> <p>一方では長時間残業の問題があり、私たちも他人事では済まされません。</p> <p>一方、現場ではお客様からの品質要求レベルは年々高くなり、工業化住宅として、そのニーズに確実に応えていかなければなりません。</p> <p>効率を高め、品質の高い住宅を提供するために、私たちに何ができるのかを考えていきましょう。</p>	<p>建設業は「段取の業界」「段取り八分」などと言われる程、事前の準備が重要視されています。事前準備が出来ていないと様々な無駄が発生し、現場での品質の低下を招くのは、皆さんもご存知の通りです。</p> <p>無駄を無くし、本来の仕事に集中し、品質レベルを向上させるための事例として、</p> <p>① 今の時代のICT(通信情報技術)を活用した、工事管理業務に携帯端末を導入した事例</p> <p>② 工事管理業務を、計画的に無駄なく進めるための工夫</p> <p>等、取り組み事例を参考にいただき、グループディスカッションを通じて、参加者一人ひとりが、明日から自分自身で出来る「品質を確保できる、効率の良い現場管理」を掴んでいただきたいと考えています。</p>

部門	背景と狙い	内容
【アフターサービス】	<p>新たな住生活基本計画に加え、プレ協が策定した「住生活向上推進プラン2020」における“優良な住宅ストックの更なる普及促進”のなかの「適切な維持管理の実施」「既存住宅の質を維持・向上」について、アフターサービスが担う役割は大きいと見られます。</p> <p>今まで下支えであったAS部門の成果と活動にスポットライトをあて、サービスマンが元気であり続けるための効率化手法やナレッジ（知識）を共有し成果に結びつける活動を進めていきたいと考えます。</p>	<p>1) AS社員が知っておくべき業界の方向性を学ぶ</p> <p>2) 事例発表</p> <p>① ITを使った現場作業の効率化</p> <p>② ナレッジを活用した問題解決</p> <p>③ プレ協『不具合Q&amp;A』の紹介</p> <p>3) グループディスカッション</p> <p>① 元気になる時はどんなときか？</p> <p>② モチベーションが上がるために有ったいいこと（制度やツール・仕組み等）</p> <p>③ 効率化でうまくいっていること、あなたが工夫している事</p> <p>を持ち寄り、そのノウハウを共有し各社に戻ってその仕組みを構築する。</p>
【リフォーム】	<p>リフォーム事業は既に各社の主力事業と位置付けられています。工業化住宅リフォームの信頼をさらに高め、高品質なリフォームを提供するために個人が「やりがい」を感じ仕事をしていくことが重要となります。</p> <p>仕事の生産性の向上による時短と成果を併せて達成することが「やりがい」に繋がります。</p> <p>先進事例及びグループ討議を通じて各社、各人の仕事への効率的な取り組みと工夫されているプロセスを学び、仕事に活かしていきます。</p> <p>また、女性の活躍の場としてのリフォームにもスポットを当てた事例報告も実施します。</p>	<p>1) 事例発表</p> <p>良質な住宅ストックの形成にむけて重要となる先進事例を学び、仕事にどう活かせるかを考える。</p> <p>2) グループ討議</p> <p>① チームごとに重要課題を討議し、課題解決策やアイデアを出し合い実務で使えるように検討する。</p> <p>② 同業他社の参加メンバーと意見交換することにより情報共有及び刺激と気づきを実感してもらう。</p>

#### 《昨年度受講者の評価》 参加者アンケートより抜粋

『講師の方のお話がとても分かりやすく、自分が悩んでいた事はプレハブメーカー共通の悩みなのだ実感した。今年入社 10年目ですが、もっと早く講習会を受講しておきたかったです。全体的に楽しく受講できたやる気が出る研修だったかと思います。』

『他のメーカーも普段のお客様に対しての対応で同様の悩みを抱え、お客様に満足を目指していることが分かった。本日のディスカッションで改善点を今後の仕事に役立てていきたい。』

『会社は違っていても、問題と感じているポイントは似ているという事がわかりました。いろんな改善案、うちではこうやっている。という話が聞けて解決策を議論する事ができ、新鮮で非常に有意義でした。自社に持ち帰ってやってみたいと思います。』

『今後も同じ職種でのディスカッションは同じ住宅メーカーとしてとても重要なことと思う。特に同じ年代の方々と班が同じなのが良かった。後輩や同僚にもぜひ参加してほしい。社内の話ばかりでなく、こういう機会があればまた参加したいです。』

『他メーカーの方々と意見交換することができたことが一番良かったです。事例研究、交流会、雑談を通してもフランクに話ができて、共感することも多くあり、モチベーションが上がりました。』

『工場見学会では、自社との違いに良い意味で驚きました。お客様や法人の案内業務に大変役立つと思いました。』

『あらためてリフォーム事業における女性の活躍がめざましい事を感じました。私も負けずに頑張ります。』